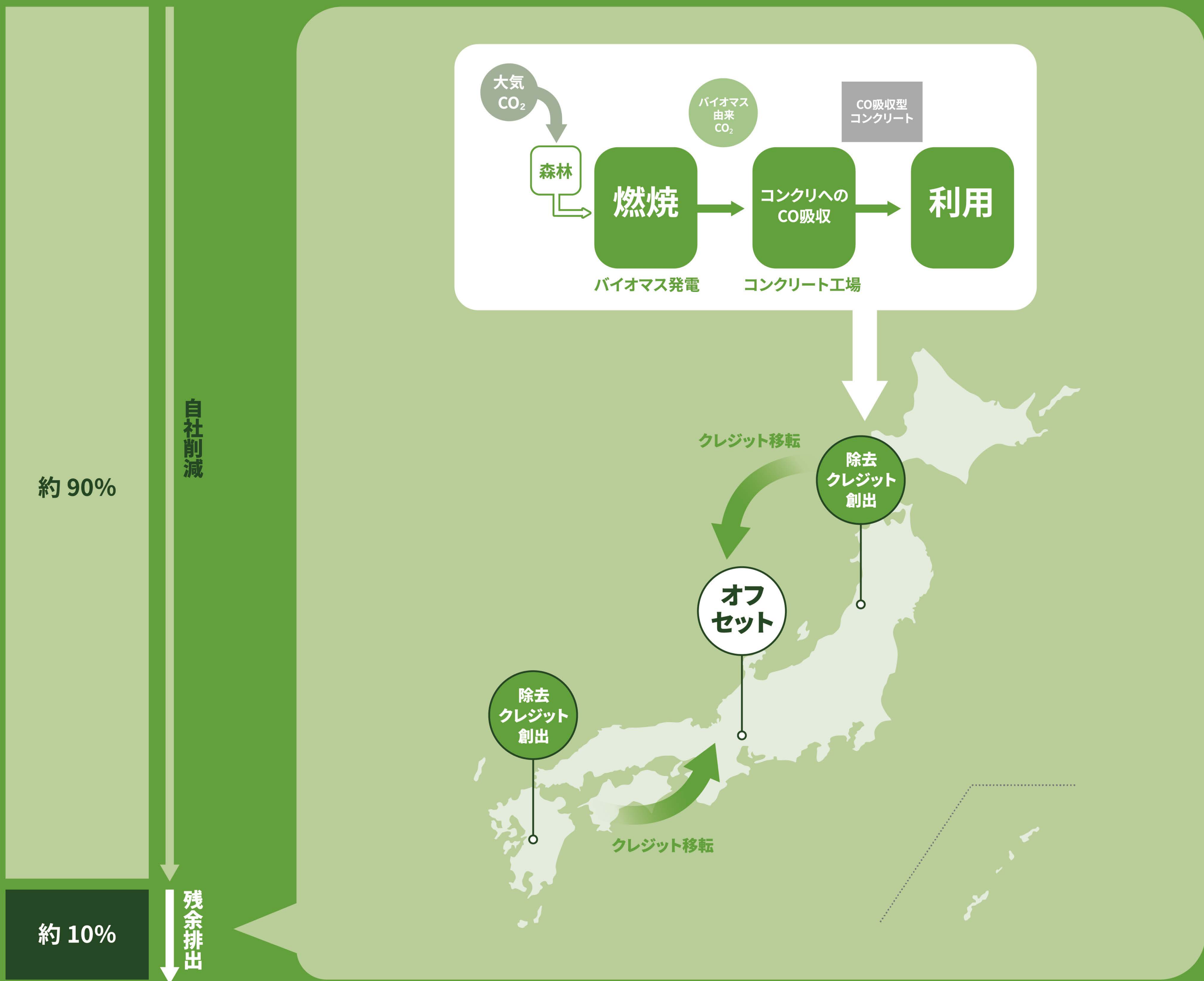


2050年ネットゼロに向けて

CO₂削減量足りてますか？

パリ協定 1.5℃目標に基づく
SBT2050 年ネットゼロ目標



世界で 50~160 億 t、
日本で数億 t の CO₂ 排出は不可避

ネットゼロ達成には、
各地域で創出する除去クレジットが不可欠

課題認識

気候変動に歯止めをかけるために、温室効果を持つ CO₂ の主要な発生源である石油供給の抑制が急務。石油の供給が激減した時代でも素材は不可欠である。石油から炭素源である CO₂・バイオマスへの代替が欠かせず、CO₂・バイオマスを原料とする「カーボンサイクル素材産業」への転換が必要である。また、農林水産業地帯での新産業創出が求められる。

解決策

CO₂ サプライチェーン構築に地域産業の活性化の可能性
全国各地のバイオマス由来 CO₂ を、地域に根差した用途で利用する産業モデルを構築。各地で分散した需要地を持つコンクリートに固定することで、創出した CDR クレジットを日本全国で取引し、地域に価値還元。